



DTX Studio™ Clinic

バージョン3.3

取扱説明書

目次

はじめに	6
免責事項	6
デバイスの概要	6
使用目的	6
用途／適応	6
対象ユーザーおよび対象患者のターゲット・グループ	6
他のデバイスとの必要な互換性	6
口腔内センサー	6
口腔内カメラ	6
口腔内スキャン	7
ソフトウェア	7
測定機能／性能特性を有する機器	7
禁忌	7
サイバーセキュリティ	7
互換性	7
相互運用性	7
耐用年数	7
パフォーマンスの要件および制限	7
臨床的利点と望ましくない副作用	8
施設およびトレーニング	8
重大な事故に関する通知	8
医療従事者用	8
システム要件	8
ソフトウェアのインストール	8
取り扱い手順	8
警告および注意事項	9
警告	9
注意事項	11
システム要件	13
オペレーティングシステム	13
機器	13
開始	14
ソフトウェアの起動	14
ソフトウェアの終了	14
DTX Studio™ Homeの概要	14

通知領域の解説	15
設定の調整	15
デフォルトのDTX Studio Home設定を調整する	15
設定のインポートまたはエクスポート	15
言語と日付/時刻形式の変更	15
DICOM準拠の設定の調整	16
デフォルトのイメージフィルタの設定	16
口腔内画像の自動回転の無効化	16
レベルとウィンドウの値の自動設定の無効化	16
DTX Studio Coreに接続する	17
アクションウィンドウへのアプリケーションの追加	17
プラクティスマネージメントシステム (PMS) 統合の有効化	17
TWAIN対応機器を追加する	18
他社製機器の画像を検出するための直接フォルダを構成する	18
デフォルトのエクスポートフォルダの設定	18
学習リソースとサポートへの問い合わせ	19
すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示	19
テクニカルサポートへの問い合わせ	19
主な機能の概要	20
患者記録	21
新しい患者記録の作成	21
患者記録の管理	21
プライバシーオプションの管理	21
患者記録の検索とソート	22
患者リストのソート	22
患者の検索	22
患者記録のエクスポート	22
データの管理	23
データのインポート	23
他社製機器からの画像のインポート	23
患者記録への画像とファイルのドラッグ・アンド・ドロップ	23
DTX Studio Clinic内からのデータをインポートする	23
3D X線データをインポートする	23
IOスキャンをインポートする	24
フェイススキャンのインポート	24
2D画像のインポート	24
3Shape Dental Desktopソフトウェアからのインポート	24
手術計画のインポート	25

データの共有	25
DTX Studio Goを介した患者データの共有	25
3Dプレゼンテーションの共有	26
データのエクスポート	26
患者記録のエクスポート	26
患者データのエクスポート	27
X-Guideへのインプラント計画のエクスポート	27
スキャンのリクエスト	28
スキャンのスケジュール	28
スキャンリクエストの検索とソート	28
スキャンリクエストリストのソート	28
スキャンリクエストの検索	28
スキャンリクエストの管理	29
スキャンワークフロー	29
スキャンデジタルワークフローの定義	29
スキャンデジタルワークフローの適用	29
スキャンの実行	30
予定されているスキャンの実行	30
即時スキャンの実行	30
口腔内センサーまたはPSP機器によるガイドあり取得	30
口腔内センサーまたはPSP機器によるガイドなし取得	31
口腔内カメラによるガイドあり画像取得	32
口腔内カメラによるガイドなし画像取得	32
口腔内スキャン	33
3Shape TRIOS®スキャナー	33
DEXISおよびMeditスキャナー	33
口腔内のスキャンデータの取得	33
スキャン症例を再度開く	33
DEXIS IS ScanFlowスキャンの再開	34
高度なScanFlow機能の有効化	34
診断または治療計画	35
DTX Studio Clinicの概要	35
患者メニューの使用	36
メニュー・オプション	36
操作	36
歯式チャート	36
歯式チャートの編集	37
解析データ	37
3DおよびIOスキャンビューアの背景を設定する	37
デフォルトの画像ズームレベルの設定	38

ビューアの操作	38
ワークスペース	39
ワークスペースのカスタマイズ	42
SmartFocus™で関連する歯の情報をすべて表示する	42
スマートレイアウトでビューをカスタマイズ	42
3D X線データによるIOスキャンの合成	42
サムネイルバーの使用	43
診断所見を追加する	43
SmartPanel™歯式チャート	43
リスライスの調整	44
3Dボリュームのクリップ	44
ワークスペースでの歯科用口腔内カメラの使用	44
ツール	45
レポート	49
レポートの作成	49
カスタムのプラクティスロゴの追加	49
DTX Studio Implantを開く	50
DTX Studio ClinicとDTX Studio Implantを接続する	50
DTX Studio Implantを起動する	50
オーダーとパートナーの共同作業	50
手術計画、サージカルテンプレート、または補綴修復をオーダーする	50
パートナーとの接続の設定	51
パートナーからの直接オーダー	51
パートナーの症例の表示または新しいデータの追加	51
フォーカスエリア検出	52
フォーカスエリア検出とは	52
フォーカスエリア検出の使用	52

はじめに

免責事項

この製品は、包括的なコンセプトの一部であり、ノーベルバイオケア(以下「当社」とする)の取扱説明書に従い、適合する専用の製品との組み合わせでのみ使用できます。他社製品にノーベルバイオケアの製品を組み合わせず推奨されない方法で使用した場合、ノーベルバイオケアのいかなる保証も、その他のいかなる義務も、明示／黙示を問わず無効になります。ノーベルバイオケアの製品を使用する際には、いかなる製品についても、それが特定の患者およびその状況に適合するかどうかを判断しなければなりません。ノーベルバイオケアは、ノーベルバイオケア製品の使用において、専門的な判断または治療におけるエラーが原因となって生じるか、またはそれらに関係して生じる、直接的、間接的、懲罰的、またはその他のどのような損害の責任も明示／黙示を問わず負わないものとしてします。ユーザーは、この製品に関する最新の開発動向およびその適用について、定期的に学ぶ義務を負っています。ユーザーは、不明な点がある場合には、当社に連絡する必要があります。この製品の利用についてはユーザーの監督下で行われるため、ユーザーの責任になります。当社は、製品の加工および外科への適用が原因で生じる損害に対して一切の責任を負いません。本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては認可状況の関係で、一部の製品が発売されていない場合があります。ご了承ください。

DTX Studio Clinicをご使用になる前に、取扱説明書をお読みになり、今後必要になる時に備えて保管しておいてください。本書で取り上げる情報は、すぐに使えるように簡潔に示されています。

デバイスの概要

DTX Studio Clinicは、歯科、頭蓋顎顔面、および関連する症状の治療のために、2Dおよび3D画像データをタイムリーに解析するために使用される歯科/医療従事者向けソフトウェアインターフェースです。DTX Studio Clinicは、さまざまなデバイス(つまり、口腔内X線、(CB)CTスキャナー、口腔内スキャナー、口腔内および口腔外カメラ)から取り込んだ画像データを表示し処理します。

DTX Studio Clinicは、AIを利用したフォーカスエリア検出アルゴリズムを備えており、口腔内X線写真に潜在的な歯科所見やキャプチャ時アーチファクトがないかを解析します。検出されたフォーカスエリアは、ユーザーが承認した後、所見に変換できます。

使用目的

このソフトウェアは、歯科および頭蓋顎顔面の治療の解析プロセスと治療計画をサポートすることを目的としています。

用途／適応

DTX Studio Clinicは、歯科および頭蓋顎顔面の画像情報を取得、管理、転送、および解析するためのソフトウェアプログラムです。疑わしい歯科所見の検出を支援し、歯科修復ソリューションのデザイン情報を提供するために使用できます。

さまざまなソースからのデジタル画像を表示して画質を高め、解析プロセスおよび治療計画をサポートします。これらの画像は、システム内でも、異なる場所にある複数台のコンピュータ・システム間でも保存および提供することができます。

対象ユーザーおよび対象患者のターゲット・グループ

DTX Studio Clinicは、学際的治療チームによって使用され、歯科、頭蓋顎顔面または関連する治療を受ける患者の治療をサポートします。

他のデバイスとの必要な互換性

DTX Studioエコシステムは、最も使用されているオペレーティングシステムであるWindowsおよびMac(最新リリースを含む)に対応しています。

口腔内センサー

DEXIS™ Titanium、DEXIS Platinum、GXS-700™、DEXIS IXS™、Gendex™ GXS-700。

口腔内カメラ

DEXIS DexCAM™ 4 HD、DEXIS DexCAM 3、DEXIS DexCAM 4、Gendex GXC-300™、KaVo DIAGNOcam™ Vision Full HD、KaVo DIAGNOcam、CariVu™、KaVo ERGOcam™ One。

口腔内スキャン

MEDIT™ i500/X 500やMEDIT i700/X 700口腔内スキャナーまたは他の互換性のあるモデルをサポートするMedit Linkソフトウェア*およびMEDIT Scan for DTX Studio*との互換性。

CS 3600/DEXIS IS 3600やCS 3700/DEXIS IS 3700、CS 3800/DEXIS IS 3800口腔内スキャナーまたは他の互換性のあるモデルをサポートするDEXIS™ IS ScanFlow*との互換性。

ソフトウェア

DTX Studio Core*、DTX Studio Implant、DTX Studio Go、DTX Studio Lab*、CyberMed OnDemand3D™*、Osteoid (旧Anatomage) InVivo™。

* Windowsオペレーティング・システムでのみ使用可能な製品です。

測定機能／性能特性を有する機器

測定の正確度と精度は、スキャナー機器の取扱説明書に従って取得された(コーンビーム)CTスキャンの入力に基づく線形測定では0.1 mm、角度測定では0.1度であり、ボクセルサイズは0.5 mm x 0.5 mm x 0.5 mmです。

DTX Studio Clinicは、ユーザーが選択したポイントに基づいて、小数点以下1桁に四捨五入された値を報告します。

禁忌

N/A

サイバーセキュリティ

DTX Studio Clinicを使用するコンピュータには、ファイアウォールを正しく構成したうえで、最新かつ有効なウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることを推奨します。

さらに、コンピュータから離れる場合は、必ずロックしてください。これを行わない場合、診断および計画、または治療の意図しない取り扱いにつながる可能性があります。

管理者権限なしでDTX Studio Clinicを起動することを強くお勧めしています。これを行わない場合、悪意のある他社製の実行可能ファイルが意図せず起動する可能性があります。

互換性

DTX Studio Clinicは他の医療機器と接続でき、以前のDTX Studio Clinicバージョンと互換性があります。

相互運用性

DTX Studio Clinicは、以下と相互運用可能です。

- DTX Studio Core。
- DTX Studio Implant。
- DTX Studio Go。
- DTX Studio Lab。
- CyberMed OnDemand3D。
- MEDIT Scan for DTX Studio。
- Medit Link。
- DEXIS IS ScanFlow。

耐用年数

ソフトウェアの場合、耐用年数は3年です。サポートされているオペレーティングシステムで使用すると、ソフトウェアによって用途に応じてパフォーマンスが維持されます。

パフォーマンスの要件および制限

DTX Studio Clinicは承認されているオペレーティングシステムでのみ使用してください。詳細については、取扱説明書の「[システム要件](#)」を参照してください。

臨床的利点と望ましくない副作用

DTX Studio Clinicは、歯科または頭蓋顎顔面治療のコンポーネントです。歯科医は、このソフトウェアが診断および治療計画プロセスをサポートすることを期待できます。

DTX Studio Clinicでは、望ましくない副作用は確認されていません。

施設およびトレーニング

歯科医師は、インプラント、補綴物、および関連するソフトウェアの経験の有無（経験値）にかかわらず、新しい治療法に着手する前には必ず、そのための特別なトレーニングを受けることを強くお勧めします。

ノーベルバイオケアは、歯科医師が知識や経験のレベルに合わせて選択できるように、さまざまなコースを提供しています。

詳細については、[tw.dtxstudio.com](https://www.tw.dtxstudio.com)のトレーニングサイトを参照してください。

重大な事故に関する通知

このデバイスの使用中、または使用の結果として、重大な事故が発生した場合は、製造元および各国当局に報告してください。重大な事故を報告するための、このデバイスのメーカーの連絡先は以下のとおりです。

Nobel Biocare AB

<https://www.nobelbiocare.com/complaint-form>

医療従事者用

DTX Studio Clinicは、医療従事者専用です。

システム要件

ソフトウェアのインストールを開始する前に、[システム要件](#)を確認してください。最小要件や推奨要件に関する情報を入手するには、テクニカルサポートまでお問い合わせください。ソフトウェアの新しいバージョンでは、ハードウェアまたはオペレーティング・システムによっては、より高い要件が必要になる場合があります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストール方法に関する情報を入手するには、認定された技術者またはテクニカルサポートまでお問い合わせください。

取り扱い手順

ソフトウェアの使用法の詳細については、この取扱説明書の詳細な手順を参照してください。

警告および注意事項

警告

次の警告がソフトウェアに表示されます。



- **DICOMファイルでの名前は、患者名とは異なります。**
誤ったデータを使用して患者モデルを作成するリスクを軽減するには、患者名を確認し、患者名と使用されるDICOMデータセットの名前が一致するかどうかを確認してください。
- **現在の診断に3D X線データを追加できません。**
現在の診断には、手術計画にリンクされた3D X線データが含まれています。
新しい診断を作成して3Dスキャンをインポートします。
- **現在の診断に手術計画を追加できません。**
現在の診断に含められた3D X線データに基づいて、手術計画を選択します。
- **8ビットで画像をエクスポートした場合は、忠実性に欠ける可能性があります。**
画質を維持するために、画像を別の形式でエクスポートすることをお勧めします。
- **患者を放射線にさらさないでください。**
機器を準備できませんでした。この状態では、機器はX線照射を受けとれません。
機器を再接続するか、再起動してもう一度試してください。
問題が解決しない場合は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- **次の照射用のセンサーを準備しています。お待ちください。**
機器は現在再準備中です。この状態では、機器はX線照射を受けとれません。
- **機器のスキャン・リクエスト・パラメータを確認してください。**
患者をスキャンする前に、機器のパラメータを確認してください。
- **実際のインプランの形状を使用せずに治療計画を変更することはお勧めできません。**
実際の形状は、DTX Studio Goからダウンロードできます。
- **画像が反転されています。**
この警告は、ユーザーが画像を手動で（水平または垂直に）反転した場合に表示されます。
- **口腔内画像の自動ソート (MagicAssist™) は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。**
適切な条件から外れる患者の画像にMagicAssistを使用するリスクを減らすため。
- **DTX Studio ClinicとX-Guideソフトウェアとの間で、データの表示（ビューアの方向、オブジェクトの色など）および警告の相違が存在する可能性があることに注意してください。**
- **サポートされていないインプラントです。**
DTX Studio Clinicは、X-Guide™にエクスポートされる一部のインプラントのみをサポートしています。サポート対象外のインプラントは、X-Guideファイルに含まれません。



– **注釈付きの解剖学的構造にインプラントが近すぎます。**

計画したインプラントが、注釈付きの解剖学的構造（注釈付きの神経など）に近すぎます。インプラントが解剖学的構造に当たっていないことを確認してください。

– **インプラント同士がぶつかっています。**

一部のインプラントが互いにぶつかっています。これにより、術中に問題が発生するおそれがあります。治療計画の見直しをお勧めします。

さらに、DTX Studio Clinicでは、技術的な警告（CTデータの矛盾など）が数多く表示されます。

より正確にスキャンするために、ソフトウェアの手順と技術的な通知に従うことを強くお勧めしています。

口腔内画像の自動ソート（MagicAssist）は、双生、叢生、巨大歯のない永久歯列にのみ使用することを目的としています。

歯科医師は、フォーカスエリア検出で特定された結果だけに頼らず、患者データセット全体の完全な系統的レビューと解釈、およびその他の鑑別診断法を実行する必要があります。

フォーカスエリア検出は、検出可能な画像に限定されます。

フォーカスエリアの自動検出は、双生、叢生、巨大歯のない大人の歯列にのみ使用することを目的としています。

注意事項



- 新しい治療法や機器を使用する際は、事前にトレーニングを受けておくことをお勧めします。
- 新しい機器や治療法を初めて使用する際は、その新しい機器の使用法や治療法に関して経験が豊富な歯科医とともに治療を行うことで、可能性のある合併症を防ぐことができます。
- より正確にスキャンするために、スキャンプロセス中は患者の動きが最少に抑えられていることを必ず確認します。
- ソフトウェアの知識と理解が不足していると、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。
- ソフトウェアで提供される診断および計画ツールを使用するときは、特に以下の点に注意を払うことが重要です。

- 対象となる適応症が正確であること(可視化、測定、重要な構造、インポートされたデータ、インプラント計画)。
- 自動化された機能の結果が正確であること(デンタルスキャンのアライメント、穴の自動充填、および気道セグメンテーション)。
- 患者IDが正確であること(PMSシステムを介して患者記録を開いた後、およびスキャンリクエストを作成するとき)。
- データが古いものでなく、最新であること。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

- 画像キャプチャ機器を使用する場合は、特に注意することをお勧めします。誤った使い方をすると、診断および計画または治療の遅延や再スケジュールに至ったり、患者に不必要な追加の放射線被ばくを与える恐れがあります。
- ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的に使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。
- 特に、割り当てられた歯番号とビューアの方向のマーキングに注意を払うことをお勧めします。割り当てられた歯番号や患者の方向が誤っていると、患者に対する治療が正しく行われず、可能性が低くなります。
- ソフトウェアバージョンを更新した後は、開いている患者の症例や治療計画の重要な設定を確認して、新しいソフトウェアバージョンでこれらの設定が正しいことを確認することをお勧めします。設定が正しくない場合、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。
- DTX Studio Clinicを使用するコンピュータには、ファイアウォールを正しく構成したうえで、最新かつ有効なウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることを推奨します。さらに、コンピュータから離れる場合は、必ずロックしてください。これを行わない場合、診断および計画、または治療の意図しない取り扱いにつながる可能性があります。



- 作成したインプラント計画、インプラント相互の配置、および他の重要な解剖学的構造に対するインプラントの配置に特別な注意を払うことをお勧めします。さらに、エクスポート用に適切なインプラント計画が選択されていることと、エクスポートしたインプラント計画にインプラント手術に必要な情報がすべて含まれていることを必ず確認してください。

これらを満たさないと、診断と計画または治療の見直しが必要になるリスクが高まり、その結果、診断および計画または実際の治療の遅延あるいは再スケジュールにつながる可能性があります。

システム要件

オペレーティングシステム

- Windows® 11 または10 64ビット (Pro およびEnterpriseエディション)
- macOS Ventura (13) または Monterey (12) (IntelベースのMac* および Apple Silicon Mac および M1チップ以上)

機器

- Windowsデスクトップ
- Windowsノートブック
- iMac®, Mac® Mini, Mac Pro®, MacBook Pro®, MacBook Air® (*)

*一部のMacBook Air®およびMac® Mini構成のグラフィックカードには、ボリュームレンダリングに関する制限があります。低解像度のボリュームレンダリングを選択することを検討してください。

基本的なセットアップ(2D画像のみ)

推奨されるセットアップ(2Dおよび3D画像においてパフォーマンスが向上する)

CPU	デュアルコアまたはクアッドコア	2.8 GHzクアッドコア (インテルCore i5またはi7)
RAM	4 GB	8 GB以上
グラフィックカード	エントリーレベルの専用アドインカードまたはインテルの統合型グラフィックカード。第6世代以降のIntel® CPUがサポートされています (第9世代以降のGPUが組み込まれている場合)。OpenGL® 3.3のサポートが必要です**。	最適な3Dサポート (OpenGL 3.3) と2 GB以上のメモリ (AMDやNVIDIAなど) を備えた専用のアドイングラフィックカード。4Kディスプレイの場合: 4 GB以上のメモリ。第6世代以降のIntel® CPUがサポートされています (第9世代以降のGPUが組み込まれている場合)。
ディスク容量	インストール用の10 GBの空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinicの一般的な2D患者データセットは約10 MBです。	インストール用の10 GBの空きディスク容量と、ユーザー作成データ用の追加のディスク容量。DTX Studio Clinicの一般的な3D患者データセットは約250 MBです。
ネットワーク	アップロード速度が3 Mbps、ダウンロード速度が30 Mbpsのブロードバンド・インターネット接続。 常時インターネットに接続しておくことをお勧めします。それができない場合、DTX Studio Clinicへのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも14日に1回接続する必要があります。	
ハードディスク	Macデバイスの場合は、HFS+またはHFSJの大文字と小文字を区別しないドライブにのみDTX Studio Clinicをインストールしてください。	
モニター	フルHD (1,920×1,080) 以上。画面のスケーリングが行われている場合、情報が欠落して見えることがあります。このため、同等のスケーリング解像度を1,920×1,080未満にすべきではありません。	
LAN	DTX Studio Clinicが、DTX Studio Coreと一緒にインストールされている場合は、ローカルギガビットネットワークをお勧めします。	

開始

ソフトウェアの起動

1. DTX Studio Clinicを開きます。
 - Windowsでは、デスクトップのショートカット・アイコン  をダブルクリックします。
 - macOSでは、Finderアプリケーション・フォルダーまたはDock内のショートカット・アイコン  をクリックします。
2. ユーザーを選択します。
3. パスワードを入力します。
4. [\[ログイン\]](#)をクリックします。

備考

DTX Studio Goに2要素認証を設定すると、30日ごとに6桁の確認コードを入力してログインする必要があります。

DTX Studio Clinicは、常時インターネットに接続しておく必要があります。それができない場合、DTX Studio Clinicへのアクセスが一時的に中断される可能性があるため、少なくとも14日に1回接続する必要があります。

ソフトウェアの終了

アクティブなDTX Studio Clinicとスキャン・モジュール*のインスタンスをすべて閉じてください。

[\[メニュー\]](#)をクリックし、[\[アプリケーションを閉じる\]](#)をクリックします。

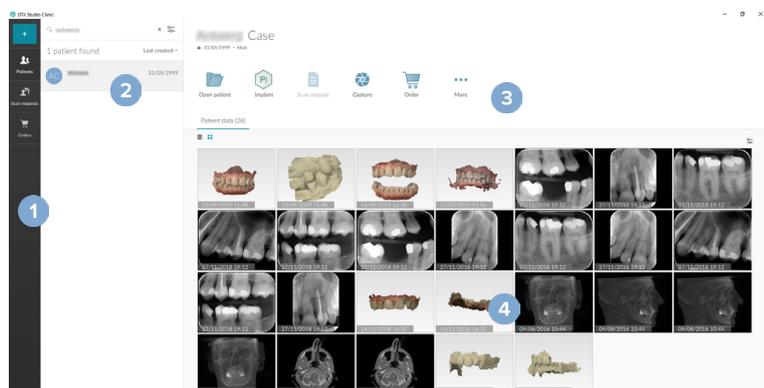
注記

終了ボタン  を使用すると、ソフトウェアはバックグラウンドで実行されるため、データの同期が可能になり、DTX Studio Home / DTX Studio Clinicを再度開くときの反応が早くなります。

* モジュールはライセンス契約されている可能性があります。

DTX Studio™ Homeの概要

DTX Studio Homeは、患者記録、スキャンリクエスト、オーダー、および一般設定を選択し管理するための作業領域です。



- 1 サイドバー
- 2 患者リスト
- 3 アクション・ウィンドウ
- 4 詳細ウィンドウ

通知領域の解説

通知領域のアイコンから、DTX Studio Homeの設定と以下の機能にアクセスできます。

- **[通知]**: アップロードしている患者記録またはDTX Studio Coreと同期されている患者記録が表示されます。
- **[DTX]**: DTX Studio Core、DTX Studio Go、照射線量レポート*、QuickPrescribe*、スキャンセンター*またはリンクされている他社製アプリケーションにすばやくアクセスできます。
- **[機器]**: 他社製機器の画像をインポートするための直接フォルダを一覧表示し、取得機器とそのステータス(USBまたはTWAIN経由で接続、オンライン、ビジー、またはオフライン)を表示します。機器の設定、フォルダのインポート設定にアクセスしたり、不要な機器を無効にしたりするには、… をクリックします。

* DTX Studio Coreが必要です。

設定の調整

デフォルトのDTX Studio Home設定を調整する

1. **[メニュー]**  をクリックします。
2. **[設定]**  をクリックします。

設定のインポートまたはエクスポート

設定されたプリファレンスを含む設定ファイルを作成またはインポートします。これは、設定を新しいインストールにエクスポートしたり、DTX Studio Clinicの他のユーザーと設定を共有したり、バックアップを作成したりする場合に有用です。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「設定の共有」トピックを参照してください。 をクリックし、**[ヘルプ]** を選択してください。

DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの**[設定の共有]**をクリックします。

- 設定ファイルをインポートするには、**[インポート]**セクションの**[参照]**をクリックします。設定ファイルを選択して、**[保存]**をクリックします。**[インポート]**をクリックして確定します。
- 設定ファイルをエクスポートするには、**[エクスポート]**セクションの**[参照]**をクリックします。必要に応じてファイル名を変更し、**[保存]**をクリックします。**[エクスポート]**をクリックして確定します。

言語と日付/時刻形式の変更

使用言語、日付形式、時刻形式を調整するには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの**[全般]**をクリックします。
2. **[短い日付形式]**、**[長い日付形式]**、および**[時刻形式]**リストで日付と時刻の形式を選択します。
3. **[アプリケーションの言語]**リストから使用する言語を選択します。
4. **[OK]**をクリックします。
5. 変更を有効にするには、DTX Studio Clinicを再起動してください。

DICOM準拠の設定の調整

DIN 6862-2スタンダードへの準拠を確認するには、機関情報を入力します。DICOMファイルをエクスポートすると、提供された機関情報で空のタグが置き換えられます。

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの**[全般]**をクリックします。
2. **[DIN 6862-2標準を使用]**を選択します。
3. 要求された機関情報を入力します。
4. **[OK]**をクリックします。

注記

準拠するDICOMファイルをインポートおよびエクスポートすると、DIN 2020タグが常に保持されます。

デフォルトのイメージフィルタの設定

DTX Studio HomeビューアとDTX Studio Clinicのデフォルトのイメージフィルタを設定するには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの**設定**またはDTX Studio Clinicプリファレンスサイドバーの**[画像設定]**をクリックします。
2. **[デフォルト画像設定]**リストから、デフォルトのフィルタ設定を設定する画像タイプを選択します。

注記

ガンマフィルタのカスタム値を設定するには、**[デフォルト画像設定]**リストから**[OPG]**、**[口腔内]**、または**[セファログラム]**を選択します。**[ガンマ]**オプションを**[手動]**に設定します。

3. 選択した画像タイプのデフォルトとして使用するフィルタを選択し、表示されたスライダーを使用してフィルタのパーセンテージを設定します。
4. **[OK]**をクリックします。

初期設定のデフォルト値に戻す場合は、**[リセット]**をクリックします。

口腔内画像の自動回転の無効化

即時スキャンを実行すると、口腔内画像は自動的に正しい位置に回転します。この機能を無効にするには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの**設定**またはDTX Studio Clinicプリファレンスサイドバーの**[画像設定]**をクリックします。
2. **[DTX Studioのキャプチャで自動回転を適用する]**の選択を解除します。

レベルとウィンドウの値の自動設定の無効化

2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの**設定**またはDTX Studio Clinicプリファレンスサイドバーの**[画像設定]**をクリックします。
2. 右上のドロップダウンメニューで、**[OPG]**、**[口腔内]**、または**[セファログラム]**を選択します。
3. **[自動レベル・ウィンドウ]**の選択を解除します。
4. カスタム・レベルとウィンドウの値を入力します。
5. **[OK]**をクリックします。

DTX Studio Coreに接続する

DTX Studio Coreは、患者のさまざまな種類のメディアや画像データ(2D X線、3D(CB)CT X線、歯科光学スキャン、写真)を一元化された方法で保存して取り出すためのソフトウェアソリューションです。これにより、歯科医院内のどこからでもすぐにデータにアクセスできるようになります。

- DTX Studio Coreと接続すると、DTX Studio Clinicをネットワーク環境で使用し、サポートされている他のイーサネット接続機器や3Shape TRIOS®機器から画像を取得することができます。
- ネットワーク機器のスキャンリクエストを処理し、X線レポートにアクセスするには、DTX Studio Coreと接続する必要があります。

DTX Studio Coreとの接続を確立するには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの[**Core**]をクリックします。
2. [**URL**] (Webアドレス)を入力し、DTX Studio Coreの[**ログイン**]と[**パスワード**]を入力します。
3. [**接続**]をクリックします。

アクションウィンドウへのアプリケーションの追加

アクションウィンドウにアプリケーションのショートカットを追加するには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの[**クイック起動**]をクリックします。
2. [**追加**]をクリックします。
3. 実行可能ファイルを選択し、[**開く**]をクリックします。
4. 必要に応じて、[**アプリケーション名**]を変更します。
5. 必要に応じて、[**患者データを読み込んで起動**]を選択し、患者データを読み込んで他社製アプリケーションを起動します。
 - エクスポート・パラメータを[**エクスポート・パラメータ**]フィールドに追加して、エクスポートするデータを指定します。

注記

すべての患者データのパラメータ詳細については、ヘルプファイルのクイック起動のトピックを参照してください。

- [**参照**]をクリックして、エクスポートしたデータの保存場所を選択します。
6. [**OK**]をクリックします。

プラクティスマネージメントシステム(PMS)統合の有効化

DTX Studio Clinicを(VDDMまたはOPP/OPPウェブを介して)PMSと統合すると、PMS内に患者記録を作成したり、PMSから画像を取得したりできます。

DTX Studio HomeでPMS画像をプレビューするか、DTX Studio Clinicで直接表示します。

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの[**PMS統合**]をクリックします。
2. [**PMS統合の有効化**]を選択します。

注記

詳細については、ヘルプファイルの「PMS統合」トピックを参照してください。☰をクリックし、[**ヘルプ**]を選択してください。

TWAIN対応機器を追加する

1. DTX Studio Homeの[設定](#)サイドバーの[機器]をクリックします。
2. [\[追加\]](#)をクリックします。
3. TWAIN機器を選択します。
4. 機器の設定を構成します。
5. [\[追加\]](#)をクリックします。

他社製機器の画像を検出するための直接フォルダを構成する

他社製カメラ機器または他社製(CB)CT機器からの画像を追加するには、新しい画像が検出されることになる直接フォルダをセットアップします。患者記録またはDTX Studio Clinic内からの[\[キャプチャ\]](#)アクションで、それらを患者記録に追加します。

1. カメラ機器の設定を準備します。
 - 可能であれば、他社製のカメラ機器、(CB)CT機器、またはワイヤレスSDカードをセットアップして、画像を特定のフォルダに保存します。
 - 画像が標準のSDカードに保存されている場合は、それを挿入し、割り当てられたドライブ文字を書き留めます。
2. DTX Studio Homeの[設定](#)サイドバーの[機器]をクリックします。
3. [\[追加\]](#)をクリックします。
4. 目的の他社製機器を選択し、[\[選択\]](#)をクリックします。
5. [\[参照\]](#)をクリックし、カメラ機器フォルダを選択し、[\[フォルダーの選択\]](#)をクリックします。
6. 具体的な名前を入力します。
7. 必要に応じて、モダリティとフォルダーの優先順位を変更します。
8. [\[追加\]](#)をクリックします。

デフォルトのエクスポートフォルダの設定

レポート、スクリーンショット、X-Guideファイルのデフォルトのエクスポートフォルダを指定するには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの[設定](#)サイドバーの[\[エクスポート\]](#)をクリックします。
2. エクスポートタイプごとに[\[参照\]](#)をクリックし、デフォルトのフォルダを選択します。

学習リソースとサポートへの問い合わせ

すべての学習リソースとキーボードショートカットの表示

ヘルプドキュメント、取扱説明書、キーボードショートカットを表示するには、☰をクリックし、[\[ヘルプ\]](#)、[\[キーボードショートカット\]](#)、または[\[取扱説明書\]](#)を選択します。または、DTX Studio Clinicで  をクリックします。

トレーニングビデオWebサイトと製品ツアーは、DTX Studio Clinicでのみ開くことができます。

☰または  をクリックし、[\[トレーニングビデオ\]](#)または[\[製品ツアー\]](#)を選択します。

テクニカルサポートへの問い合わせ

テクニカルサポートに問い合わせるには、☰をクリックし、[\[サポートに問い合わせる\]](#)を選択します。すべての問い合わせ方法が記載されたサポートWebサイトが開きます。

主な機能の概要

主な機能を使用するには、次の手順に従います。

-
- | | | |
|---|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 患者記録を作成またはリンクする |  DTX Studio Homeで患者記録を作成します (ページを参照 21)。 |
| | |  プラクティスマネジメントシステムを統合し (ページを参照 17)、既存のPMS患者記録をリンクします。 |
| 2 | データを取得またはインポートする |  スキャンを取得するか、複数のスキャンワークフローを開始するか (ページを参照 29)、または直接フォルダーから他社製機器の画像をインポートします (ページを参照 18)。 |
| | |  1つ以上のスキャン、もしくは複数のスキャンワークフローをリクエストします (ページを参照 29)。 |
| | |  患者記録に画像をドラッグ・アンド・ドロップします (ページを参照 21)。 |
| | |  オンデマンドでデータを移行します (データベース移行を伴うセットアップの場合) (ページを参照 37)。 |
| | |  3Shape Dental Desktopソフトウェアからインポートします (ページを参照 24)。 |
-

患者記録が作成され、データが追加されたら、次の手順に進みます。

-
- | | |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 解析し、治療の計画を立てる |  DTX Studio Clinicを開きます (ページを参照 35)。 |
| |  必要に応じて、DTX Studio Implantを開きます (ページを参照 50)。 |
| 共有してやり取りする |  DTX Studio Go (ページを参照 25) を介して患者記録と患者データを共有するか、またはパートナーと共同で作業します。 |
| |  3Dプレゼンテーションを患者と共有します (ページを参照 26)。 |
| |  患者記録をエクスポートします (ページを参照 22)。 |
| |  レポートまたは患者への連絡レターを作成します (ページを参照 49)。 |
| オーダーする |  必要に応じて、補綴修復、サージカルテンプレート、または手術計画をオーダーします (ページを参照 50)。 |
-

患者記録

新しい患者記録の作成

1.  をクリックします。
2. [患者を作成] を選択します。
3. 患者名、生年月日、性別など、基本的な患者情報を入力します。
4. [作成] をクリックします。
5. 患者記録が[患者]  リストに追加されます。DTX Studio HomeがDTX Studio Coreに接続されている場合、患者記録もDTX Studio Coreに追加されます。

患者記録の管理

まだ開いていない場合は、サイドバーの[患者]  をクリックして患者リストを開きます。

注記

ワークステーションがDTX Studio Coreに接続されていない場合は、ローカルに保存されている患者記録だけが表示されます。

- ローカルのワークステーションまたはネットワークに接続されたワークステーションのDTX Studio Clinicで開かれた患者記録には、 マークが付いています。
- 基本患者情報を編集するには、患者リストで患者記録を選択し、[その他] ... をクリックして[編集]  を選択します。
- 選択した患者記録を削除するには、[その他] ... をクリックし、[削除]  を選択します。
- DTX Studio Coreに保存されている患者記録をオフラインでも利用できるようにするには、[その他] ... をクリックし、[オフライン利用可能] を有効にします。

通知領域 ([ページを参照 15](#)) には、アップロードされている患者記録または同期されている患者記録が表示されます。

プライバシーオプションの管理

患者のプライバシーを確保するには、次の手順に従って、患者リストに患者のイニシャルのみを表示するか、患者リストを完全に非表示にします。

1. 患者リストで、 をクリックします。
2. イニシャルのみを表示するには、[患者モード] を選択し、患者リストを完全に非表示にするには、[患者リストを非表示] を選択します。

備考

患者リストを再度表示するには、サイドバーの  をクリックします。

患者モードは、DTX Studio Clinicを再起動した場合でも有効のままです。患者モードをオフにするには、もう一度  をクリックし、[患者モード] をオフにします。

患者記録の検索とソート

患者記録を検索するには、患者リストをソートするか、検索機能を使用します。

患者リストのソート

1. 患者リストの見出しの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. [最終作成日]、[最終変更日]または[最終キャプチャ]を選択します。
3. もう一度ドロップダウンリストをクリックして閉じます。

患者の検索

1. 患者リストで、 をクリックします。
2. 検索のために[患者名]、[生年月日]または[患者ID]を選択します。
3. 選択した検索オプション(の一部)を[患者検索]  フィールドに入力します。
4. 検索ボックスにテキストを入力すると、患者リストが自動的にフィルタリングされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドで  をクリックします。

患者記録のエクスポート

患者記録をエクスポートして、診断および画像データを別のDTX Studio Clinicユーザーと手動で共有することができます。また、エクスポートした患者記録は、DTX Studio Goを介して利用できる無料版のDTX Studio Clinicでも表示できます。詳細については、[ページを参照 26](#)。

注記

ソフトウェアからレポートまたは患者データを抽出する場合に、匿名化されていない患者データが、患者の同意なしに誤った目的で使用される可能性があることを理解しておくことが重要です。

データの管理

データのインポート

他社製機器からの画像のインポート

他社製カメラ機器または他社製(CB)CT機器から画像を追加するには、必ず、新しい画像を検出することになる直接フォルダーを構成します(ページを参照 18)。

1. 患者リストで患者記録を選択するか、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。
2. [キャプチャ]  をクリックします。
3. 直接フォルダーの名前にカーソルを合わせ、[選択] をクリックします。
 - 2D画像の場合は、インポートする画像を選択します。[終了] をクリックします。
 - 3D (CB)CT機器の場合は、インポートする3Dデータを選択します。[インポート] をクリックします。

患者記録への画像とファイルのドラッグ・アンド・ドロップ

1. 互換性のある画像またはファイルの種類をファイル・エクスプローラーから患者記録にドラッグ・アンド・ドロップします。
2. 必要に応じて、モダリティと取得日を変更します。
3. [インポート] をクリックします。
4. 画像またはファイルが患者記録に追加されます。

DTX Studio Clinic内からのデータをインポートする

データをインポートするには、患者メニューの[インポート]  をクリックします。

3D X線データをインポートする

1. [インポート]  をクリックし、[3D X線] を選択します。
2. DICOMデータを選択します。
3. [次へ] をクリックします。
4. ISO値を設定します。
5. [終了] をクリックします。
6. MagicAssistが有効になっている場合(デフォルトで有効)、AI検出プロセスが開始され、(CB)CTデータが自動的に設定されます。
 - 後でランドマークとOPG曲線を手動で指定するには、[MagicAssistをスキップ] をクリックします。
 - 3D画像の向きは、患者の方向ウィザードによって最適化できます。
 - OPG曲線アクション(ページを参照 45)を実行すると、3D OPGを調整できます。

IOスキャンをインポートする

1. [インポート] ↓ をクリックし、[IOスキャン] を選択します。
2. IOスキャン・モデルを選択し、必要に応じて取得詳細を追加します。
3. [次へ] をクリックします。
4. [終了] をクリックします。

フェイススキャンのインポート

1. [インポート] ↓ をクリックし、[フェイススキャン] を選択します。
2. インポートするフェイススキャンを選択します。
3. [開く] をクリックします。
4. 必要に応じて、[明るさ] と [コントラスト] を調整します。
5. [終了] をクリックします。

2D画像のインポート

1. [インポート ↓] をクリックし、[2D画像] を選択します。
2. 画像(複数枚も可)を選択し、[開く] をクリックします。
3. [OK] をクリックします。
4. 追加する画像を選択します。
5. [インポート] をクリックします。
 - 2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、[ページを参照 16](#)してください。
 - デフォルトでは、MagicAssist自動検出がアクティブになっています。これは、設定で無効にすることができます。

3Shape Dental Desktopソフトウェアからのインポート

3Shape TRIOS口腔内スキャナーで取得したスキャンをインポートするには、最初にDTX Studio Homeで患者記録を作成する必要があります。

注記

3Shape TRIOS口腔内スキャナー機器の統合方法については、『DTX Studio Coreクイック・ガイド』を参照してください。

1. DTX Studio Homeで新規の患者記録を作成します。3Shapeデータが確実にマージされるようにするには、次の手順に従います。
 - 3Shape Dental Desktopの既存の患者とまったく同じ名、姓、生年月日を使用します。
 - 患者名に正しい大文字が使われていることを確認してください。名前の大文字と小文字は区別されます。

備考

以前にインポートされた患者記録は再インポートできません。3Shape Dental Desktopで患者記録を複製し、代わりに複製された患者レコードをインポートします。

DTX Studio Clinicの患者記録IDは3Shapeと交換されません。リンクは、名、姓、生年月日が同じであることをユーザーが確認したうえで作成されます。

2. [患者]  リストで患者記録を選択します。
3. [その他]  をクリックします。
4. [3Shapeからインポート]  を選択します。
5. 必要に応じて、患者記録が3Shape Dental Desktopの症例と一致していることを確認してください。
6. データが取得され、[患者の詳細]パネルの[患者データ]タブに追加されます。

手術計画のインポート

1. [患者]  リストで患者記録を選択します。
2. [その他]  をクリックします。
3. [手術計画のインポート]  を選択します。
4. 手術計画とレポートを選択します。
5. [インポート]をクリックします。

データの共有

DTX Studio Goを介した患者データの共有

患者データはDTX Studio Goを介して歯科医院と共有します。患者データを共有すると、追加の[GoShare]タブに概要が表示されます。

1. 患者記録のアクションウィンドウで、[共同作業]  をクリックします。
2. 共有する対象を選択します。
 - [患者]  :患者記録全体 (DTX Studio Clinic独自の暗号化形式) を共有する場合。
 - [データを選択]  :特定のデータを共有する場合。
3. 目的のオプションを選択します。
4. [続ける]をクリックします。
5. DTX Studio GoがWebブラウザで開き、作成したGoShare症例が表示されます。一方、データはバックグラウンドでアップロードされます。
 - [プレスクリプション]カードのテキスト・フィールドに備考を追加します。
 - 処方テンプレートを作成するには、[簡単な備考を挿入]をクリックして[構成]を選択します。[簡単な備考の追加]をクリックします。タイトルを追加し、カスタム・テキストを記述して、[保存]をクリックします。[閉じる]をクリックします。
 - デフォルトの処方画像を変更する、または注釈を追加するには、処方画像にポインタを合わせて[プレスクリプションの編集]を選択します。別の画像を選択するには、[画像の変更]をクリックします。
 - 患者情報を編集するには、右上隅にある  をクリックします。
 - 必要に応じて、(CB)CT画像、臨床写真、口腔内画像、OPG、レポートなどの詳細情報または追加ファイルを提供します。

6. **[共有の開始]** をクリックします。
7. 患者データを共有するための接続を選択します。**[コネクションと共有]** フィールドで既存の接続を検索するか、選択するか、あるいは電子メールアドレスを入力します。
8. **[送信]** をクリックします。受信アカウントは電子メールで通知されます。
9. 患者記録の**GoShare**の概要に共有された症例が追加されます。共有された症例をDTX Studio Goで開くには、**[症例の表示]** をクリックします。

3Dプレゼンテーションの共有

1. DTX Studio Clinicの患者メニューで、**[共有]**  をクリックし、**[3Dプレゼンテーション]** を選択します。
2. 目的のオプションを選択します。
 - **[3Dデータを含める(DICOM)]**: お住まいの国で法律上必要な場合は、生のDICOMデータを含めてください。
 - **[インプラント治療計画を含める]**: インプラントの詳細情報を追加します。
3. **[共有]** をクリックします。
4. 3DプレゼンテーションがDTX Studio Goにアップロードされ、症例に追加されます。
5. DTX Studio Goでプロセスを完了し、要求された情報を提供します。
6. 患者はオンラインで3Dプレゼンテーションにアクセスできます。
7. 3Dプレゼンテーションは、患者記録の患者データに追加されます。

データのエクспорт

患者記録のエクспорт

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. **[その他] ...** をクリックします。
3. **[患者のエクспорт]**  をクリックします。
4. 必要に応じて、エクспортする診断を選択します。
5. 目的のオプションを選択します。
6. **[参照]** をクリックしてデータのエクспорт先を選択し、**[フォルダーの選択]** をクリックします。
7. **[エクспорт]** をクリックします。

患者データのエクスポート

1. データのエクスポート操作に進みます。
 - DTX Studio Homeで、アクションウィンドウの[その他] ... をクリックし、[データのエクスポート]を選択します。
 - DTX Studio Clinicで、[エクスポート] ↑ をクリックし、[データ]を選択します。
2. エクスポートする画像を選択します。
3. [参照]をクリックし、目的のエクスポート先に移動します。
4. [フォルダーの選択]をクリックします。
5. エクスポートモード、患者の匿名化、メタデータ、画像ファイル形式を選択します。
6. [エクスポート]をクリックします。

X-Guideへのインプラント計画のエクスポート

DTX Studio Clinicでインプラント計画を完了した場合は、X-Guideにエクスポートします。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [その他] ... をクリックします。
3. [X-Guideにエクスポート] 🗑️ をクリックします。
4. 必要に応じて、エクスポートするインプラント計画を選択します。
5. 目的のオプションを選択します。
6. [参照]をクリックしてデータのエクスポート先を選択し、[フォルダーの選択]をクリックします。
7. [エクスポート]をクリックします。

スキヤンのリクエスト

スキヤンリクエストを処理するため、または複数のスキヤンプロトコル(ページを参照 29)を使用してスキヤンワークフローを開始するには、DTX Studio Coreとの接続を確立する必要があります(ページを参照 17)。

スキヤンのスケジュール

患者のスキヤンを依頼するには、次の手順に従います。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [スキヤン・リクエスト]  をクリックします。
3. 必要に応じて、複数のスキヤン・プロトコルを使用してスキヤンワークフローを開始します(ページを参照 29)。
4. 器具タイトルにカーソルを合わせて、[選択] をクリックします。
5. スキヤンリクエストフォームに適切な情報を入力します。

注記

選択したデバイスまたは機器に応じて、フォームは異なります。

- 必要に応じて、[スキヤン日]と[依頼元の歯科医]を変更します。
 - 画像取得機器で複数のデバイスを利用できる場合は、必要なデバイスを **3D**、**CEPH**(セファログラム)、**OPG**(PAN)、**IOXRAY**(2D口腔内のスキヤン)、**IOS**(3D口腔内のスキヤン) および/または **IOCAM**(口腔内写真) から選択します。該当する場合は、画像取得プログラムを選択します。
 - 歯式チャートで、スキヤンする領域を選択します。
 - 上顎洞領域をスキヤンする必要がある場合は、[上顎洞] を選択します。
 - 必要に応じて、画像取得の**解像度**を選択します。
 - 選択した器具が口腔内器具である場合は、[テンプレート] を選択し、[画像取得プログラム] を指定します。
 - 必要に応じて、オペレーターのために[依頼の備考]を追加します。
6. [スキヤン・リクエストを作成] をクリックします。スキヤン・リクエストが追加されます。

スキヤンリクエストの検索とソート

スキヤンリクエストリストのソート

1. サイドバーの[スキヤン・リクエスト]  をクリックします。
2. [スキヤン・リクエスト] リストの見出しの横にあるドロップダウン矢印をクリックします。
3. ソート項目として[予定日]または[作成日]を選択します。

スキヤンリクエストの検索

1. [スキヤンデータの検索] フィールド **Q** に予定日または患者名(一部でも可)を入力します。
2. 検索ボックスにテキストを入力すると、スキヤン・リクエスト・リストが自動的にフィルタリングされます。検索結果が、予定日に基づいてソートされます。

検索条件を削除するには、検索フィールドで **X** をクリックします。

スキャンリクエストの管理

スキャンリクエストを編集または削除したり、完了済みとしてマークしたりするには、スキャンリクエストを選択し、**...** をクリックします。対応するアクションを選択します。

スキャンワークフロー

QuickPrescribe機能を使用して、定義済みのスキャンリクエストの特定のセットを使用して、別のスキャンタイプからの複数のスキャンで構成されるスキャンワークフローを作成します。これらのスキャンデジタルワークフローは、すべてのワークステーションで使用できます。

まず、DTX Studio Coreでスキャンワークフローを定義し、スキャンのスケジュール中に、またはキャプチャウィザードでそれを適用します。

スキャンデジタルワークフローの定義

1. 画面下部 (Macを使用している場合は画面上部) の通知領域の  アイコンをクリックします。
2. **[QuickPrescribe]** をクリックします。スキャンワークフローをまだ設定していない場合は、**[今すぐ始めましょう]** をクリックします。
3. DTX Studio Coreでスキャンワークフローの設定を完了します。
注記
 詳細については、DTX Studio Coreで、左下にある**[ヘルプ]** をクリックしてください。
4. スキャンリクエストまたはキャプチャウィザードでスキャンデジタルワークフローを選択します。

スキャンデジタルワークフローの適用

DTX Studio Coreでスキャンワークフローを定義した後、スキャンリクエストウィザードまたはキャプチャウィザードでそれを選択します。

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. **[スキャンリクエスト]**  または **[キャプチャ]**  をクリックします。
3. **[QuickPrescribe]** をクリックします。
備考
 検索フィールドにスキャンデジタルワークフロー (の一部) を入力して、結果を絞り込みます。
 設定されているすべての様式とパラメータを表示するには、リスト内のスキャン・デジタルワークフロー名にカーソルを合わせます。
[詳細情報] をクリックします。
4. リスト内のスキャンワークフローの名前にカーソルを合わせ、**[スキャンリクエストを作成 (#)]** をクリックします。数字は、選択したスキャン・デジタルワークフローで作成されたスキャン・リクエストの数を示します。
5. 歯式チャートで、スキャンする解析領域を選択します。
6. **[スキャンリクエストを作成]** をクリックします。

スキャンの実行

スキャン・リクエストを作成するかどうかにかかわらず、患者の解析前、解析中、または解析後にスキャンを取得します。より正確にスキャンするために、ソフトウェアの手順と技術的な通知に従うことを強くお勧めしています。

予定されているスキャンの実行

スキャン・リクエストでスキャンを実行するには、次の手順に従います。

1. スキャン・リクエスト・カードで、**[開始]**をクリックします。
2. 必要に応じて、器具タイルにカーソルを合わせて、**[選択]**をクリックします。
3. スキャンモジュールまたは他社製スキャンアプリケーションが開きます。
4. 指示に従います。
5. **[終了]**をクリックしてアクションを終了するか、**[診断を開く]**をクリックしてDTX Studio Clinicで患者記録を開きます。

即時スキャンの実行

1. DTX Studio Homeで患者記録を選択するか、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。
2. **[キャプチャ]**  をクリックします。
3. 機器または直接フォルダーのタイルにカーソルを合わせて、**[選択]**をクリックします。

備考

口腔内画像は自動的に正しい位置に回転します。この機能を無効にするには、[ページを参照 16](#)してください。

2D画像をインポートまたは取得すると、レベルとウィンドウの値が自動的に設定されます。この機能を無効にするには、[ページを参照 16](#)してください。

キャプチャ・ウィザードで、センサー・サイズの異なる複数のセンサーをプラグインまたはプラグアウトして使用します。使用されているセンサーは右上隅に表示されます*。

複数のセンサーが接続されている場合は、+記号が表示されます*。接続されアクティブになっているすべてのセンサーは、スキャンを取得する準備ができています。X線が画像取得のトリガとなります。

* DTX Studio Clinicで直接サポートされているセンサーとPSPの場合。TWAINを介して接続する機器の場合、この機能は制限されます。

口腔内センサーまたはPSP機器によるガイドあり取得

テンプレートを使用して口腔内画像を取得するには、次の手順に従います。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[テンプレート]** タブをクリックし、目的のテンプレートを選択します。
3. 取得するレイアウトと画像を選択します。
4. **[開始]** をクリックします。
5. スキャンを実行する機器に移動します。
6. プレビューページで、取得した画像を確認します。プレビュー画像にカーソルを合わせると、**[回転]**、**[反転]**、**[イメージフィルタ]** の表示/非表示、および**[再度キャプチャ]** オプションが表示されます。必要に応じて変更します。
7. **[終了]** をクリックします。

口腔内センサーまたはPSP機器によるガイドなし取得

テンプレートを使用せずに口腔内画像を取得するには、次の手順に従います。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[フリー]**タブを選択します。
3. スキャンを実行する機器に移動します。



MagicAssist自動検出をアクティブにしている場合は、以下の手順を参照してください。

- 右下隅に、MagicAssist自動検出アイコンが表示されます。
- キャプチャウィザードで、歯牙が自動的に検出されます。それらには青色のマークが付いています。MagicAssistラベルを削除するには、歯牙をクリックします。
- 口腔内画像は、FMXチャートに自動的にマッピングされます。
- 必要に応じて、歯式チャートに未確認の画像を手動で示します。

注記

デフォルトでは、MagicAssist自動検出がアクティブになっています。これは、設定で無効にすることができます。

4. 必要に応じて、プレビュー・ページで、取得した画像を調べ、歯の範囲を割り当てます。
 - 歯の範囲で指定された歯を削除する場合は、**[選択の消去]**をクリックします。
 - 必要に応じて変更を加えます。プレビュー画像にカーソルを合わせると、**[回転]**、**[反転]**、**[イメージフィルタ]**の表示／非表示、および**[再度キャプチャ]**オプションが表示されます。
 - 必要に応じて、取得した画像を回転または反転します。

アクション	アイコン	ショートカット
画像を反時計回りに回転		[Alt + ←]または[R]
画像を時計回りに回転		[Alt + →]または[Shift+R]
口腔内画像または臨床写真を水平方向に反転します。		[U]
口腔内画像または臨床写真を垂直方向に反転します。		[Shift+U]

口腔内カメラによるガイドあり画像取得

テンプレートを使用して口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従います。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[ガイドッド]**タブを表示したままにします。
3. 口腔内カメラの場合は、取得対象の歯を選択します。
4. 機器のボタンを押すか(利用できる場合)、**[画像キャプチャ]**をクリックします。
5. 別の歯を選択して口腔内画像を撮影するには、**←**または**→**キーボードボタンを使用します。または、歯の範囲の歯をクリックするか、**[前へ]**または**[次へ]**をクリックします。

注記

1本の歯につき1枚の画像のみが必要な場合は、**[キャプチャ後に次の歯に進む]**を有効にすると、自動的に次の歯に進みます。

6. **[終了]**をクリックします。

口腔内カメラによるガイドなし画像取得

テンプレートを使用せずに口腔内カメラ画像を取得するには、次の手順に従います。

1. 即時スキャンを開始します。
2. **[フリー]**タブをクリックします。
3. 機器のボタンを押すか(利用できる場合)、**[画像キャプチャ]**をクリックします。
4. 取得した画像を歯に割り当てるには、下部にある画像のサムネイルをクリックして、歯の範囲で対応する歯を選択します。

注記

画像を選択し、歯をクリックして他の歯にドラッグすることにより、複数の歯に画像を割り当てることができます。

5. **[終了]**をクリックします。

口腔内スキャン

3Shape TRIOS®スキャナー

1. [キャプチャ]  をクリックします。
2. 3Shape口腔内スキャナータイトルにカーソルを合わせて、[選択] をクリックします。
3. 3Shape Dental Desktopアプリケーションでスキャンを開始します。

注記

3Shape TRIOS口腔内スキャナー機器の統合方法については、『DTX Studio Coreクイックガイド』を参照してください。

4. スキャン・プロセスを完了します。
5. 画像は、[患者詳細]パネルの[患者データ]タブに追加されます。
 - 完了したスキャンリクエストには、チェックマークが付きます。
 - [診断を開く] をクリックして、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。

DEXISおよびMeditスキャナー

スキャンモジュール*では、Medit ScanまたはDEXIS IS ScanFlowをDTX Studio Clinicと統合することで、サポートされているMedit/DEXIS口腔内スキャナーを使用できます。

口腔内のスキャンデータの取得

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [キャプチャ]  をクリックします。
3. 口腔内スキャナータイトルにカーソルを合わせて、[選択] をクリックします。
4. スキャンモジュールの指示に従います*。
5. 処理済みデータが患者記録に追加されます。
6. ScanFlowを使用して複数の咬合モデルをキャプチャした場合は、DTX Studio Clinicで上顎または下顎を右クリックし、[咬合] をクリックして選択を行います。

スキャン症例を再度開く

ローカルでキャプチャされた口腔内スキャンデータは、スキャンモジュールで再度開くことができます*。

注記

これは、スキャンデータの取得に使用したコンピュータでのみ可能です。

スキャンモジュール*を再度開いてスキャンを編集するには、トリミングや測定などを行います。

1. 患者記録で、IOスキャンタイトルをクリックします。
2. [Medit Scanで開く] または [ScanFlowで編集] をクリックします。

* Windowsコンピュータのみ、さらに口腔内スキャンデータの取得に使用したコンピュータで、スキャンのRAWデータが含まれるフォルダが利用可能な場合。適切なライセンスの種類またはMedit ScanまたはDEXIS IS ScanFlowの統合サブスクリプションのPlus+機能が必要です。追加のMedit ScanおよびDEXIS IS ScanFlowソフトウェアモジュールをインストールする必要があります。

DEXIS IS ScanFlowスキャンの再開

ローカルでキャプチャされた口腔内スキャンデータは、ScanFlowで再度開いて、スキャンの編集、追加のスキャン、トリミング、測定などを行うことができます。

1. 患者記録で、DEXIS IS装置のIOスキャンタイルを選択します。
2. **...**をクリックし、[ScanFlowで再開]を選択します。

高度なScanFlow機能の有効化

高度なScanFlow機能を有効にすると、DEXIS IS 3800をIO CAM*モードで使用したり、DEXIS装置の生データをインポートしたりできます。

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの[DEXIS IS]をクリックします。
2. [ScanFlowをスキャンモードで起動する]を無効にします。

* IO CAMは、プレミアムライセンスとDEXIS IS 3800装置がある場合のみ使用でき、スキャンの編集、追加のスキャン、トリミング、測定などを行うことができます。

診断または治療計画

患者データを表示して検査したり、患者記録に所見や計測値を追加したりするには、DTX Studio Clinicで患者記録を開きます。

DTX Studio Homeで、[患者]リストで患者を選択し、[患者を開く] をクリックします。あるいは、患者リストで患者名をダブルクリックするか、[O] キーを押します。

この機能はDTX Studio Clinicのライセンスの種類によって異なります。

ライセンスの種類	機能	画像取得
DTX Studio Clinic Pro または Pro IOS	2Dおよび3D	2Dおよび3D
DTX Studio Clinic Select	2Dおよび選択された3D表示機能	2Dのみ

DTX Studio Clinicの概要



- 1 患者メニュー
- 2 メニューバー
- 3 ツールバー
- 4 ワークスペース
- 5 ワークスペース-スマートレイアウト
- 6 スマートパネル

患者メニューの使用

DTX Studio Clinicで患者メニューを開くには、左上隅の☰をクリックします。

メニュー・オプション

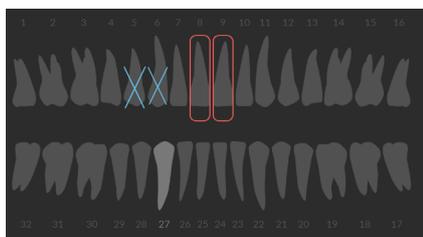
- [新規]: 新しい診断を作成します。
- [開く]: 別の既存の診断を開きます。
- [保存]: 開いている診断を保存します。
- [ヘルプ]: ヘルプドキュメントWebサイトを開きます。
- [サポートに問い合わせる]: テクニカルサポートWebサイトを開きます。
- [トレーニングビデオ]: トレーニングビデオWebサイトを開きます。
- [キーボードのショートカット]: キーボードショートカットの概要を表示します。
- [製品ツアー]: DTX Studio Clinicの機能を紹介する製品ツアーを開きます。
- [プリファレンス]: [デフォルト・ワークスペース]、[パフォーマンス]、[画像設定]、[3Dビューア]、[ツール]などの設定を変更します。
- [患者を閉じる]: DTX Studio Clinicウィンドウを閉じます。

操作

- [キャプチャ]: データを直接取得します。あるいは、メニュー・バーの📷をクリックします。
- [インポート]: 開いている診断にデータをインポートします。
- [エクスポート]: データまたは患者診断レポートをエクスポートします。
- [共有]: 3Dプレゼンテーションを共有します。

歯式チャート

患者メニューの歯式チャートには、開いている診断内の歯のステータスの概要が表示されます。



注記

患者が8歳未満の場合、乳歯の歯式チャートが表示されます。患者が成長したときに大人の歯式チャートに移動するには、歯を手動で変更する必要があることに留意してください。

歯式チャートの編集

歯式チャートを編集するには、歯式チャートで歯をクリックし、次のいずれかを選択します。

アイコン	アクション	説明
	交換	乳歯と永久歯を交換します。このオプションは、子どもの歯に対応する永久歯がある場合に使用できます。歯が生え変わった場合、乳歯のすべての所見が削除され、永久歯が健康な歯に設定されます。 注記 患者が8歳未満の場合、乳歯列が表示されます。
x	欠損(空隙あり)	この歯は欠損しており、この場所に空隙があります。
	埋伏	この歯は埋伏歯になります(親不知歯でよく使用されます)。
	挿入	歯を挿入します(子どもの歯列における大人の犬歯など)。
	欠損(空隙なし)	歯数不足を示します。

解析データ

歯式チャートの下に、開いている診断のスキャンおよび画像がデータタイプごとに表示され、取得日に基づいてソートされます。最終的なインプラント計画もここに表示されます。

患者データを含めるか除外するには、タイルをクリックします。

-  3D X線
-  OPG(パノラマ画像)
-  口腔内画像
-  セファログラム
-  臨床写真
-  スクリーンショット
-  フェイススキャン
-  IOスキャン

3DおよびIOスキャンビューアの背景を設定する

- [プリファレンス]ウィンドウで、[3Dビューア]をクリックします。
- [無地]を選択します。
- ドロップダウンメニューで色を選択するか、[カスタム]を選択して他の色を選択します。
- [OK]をクリックします。

デフォルトの画像ズームレベルの設定

表示される画像のデフォルトのズームレベルを設定するには、次の手順に従います。

1. [プリファレンス]ウィンドウで、[ワークスペース]をクリックします。
2. [デフォルト画像サイズ]リストで、デフォルトの倍率を選択します。
3. [OK]をクリックします。

ビューアの実操作

一般的なビューア操作にアクセスするには、ビューア内の任意の場所を右クリックします。オブジェクト（インプラント、注釈、フォーカスエリアなど）を右クリックすると、その操作が表示されます。

ビューアを操作するにはマウスを使用します。デフォルトの3DビューアコントロールをDTX Studio ImplantまたはInvivoのコントロールに変更するには、[3Dビューア]プリファレンスメニューに移動します。

	アクション	3Dビューア	その他のビューアタイプ
	右クリック	オブジェクトとビューアのコンテキストメニュー	オブジェクトとビューアのコンテキストメニュー
	右クリックしながらドラッグ	3Dモデルを回転させる	明るさ/コントラスト(デフォルト)または拡大と縮小
	[Ctrl]+クリックしながらドラッグ、または [Cmd]+クリックしながらドラッグ	移動	移動
	[Shift]+クリックしながらドラッグ	拡大と縮小	拡大と縮小
	ホイールボタンをスクロール	拡大と縮小	リスライスビューアのみ: スライス全体をスクロール

ワークスペース

ワークスペースバーからワークスペースを選択するか、利用可能な場合は、対応するショートカットキーを使用します ([ページ 19](#)の“学習リソースとサポートへの問い合わせ”を参照)。

注記

画像またはデータが診断に追加されているワークスペースのみが表示されます。

ワークスペース	説明	ショートカットキー
3D患者	<p>ロードしたモデルをあらゆる面から検査するには、マウス操作 (ページを参照 38) とキーボードショートカットを使用します。または、以下の標準のクリニカルビューのアイコンを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none">  正面  背面  左側面  右側面  頭蓋方向  顎方向 <p>IOスキャンのワークスペースに移動するには、もう一度 [F2] キーを押します (利用可能な場合)。</p>	F2
3Dパノラマ	3DパノラマX線画像は、ロードした3D X線データに基づいて生成されます。	F3
歯	<p>特定の歯に移動し、SmartPanel™の[レイアウト] タブを使用してすべての2Dデータと3Dデータを比較します。選択した歯に注釈を付けます (ページを参照 43)。</p> <p>垂直ビューアの垂直スライダーを使用すると、歯の回転軸を中心としてスライスが回転します。状況に応じて、次のスライスヒントがリスライスの方向を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 口腔側／頬側 (O/B) - 近心／遠心 (M/D) - 左／右 (L/R) <p>回転軸を調整するには、ページを参照 44してください。</p> <p>エンドワークスペースに移動するには、もう一度 [F4] キーを押します (利用可能な場合)。</p>	F4

ワークスペース	説明	ショートカットキー
エンド	<p>歯内解析と歯内療法の対象となる歯に焦点を合わせます。歯髄を表示するには、SmartPanel™の[ビューア]タブの[エンド]3D可視化をクリックします。</p> <p>注記 このワークスペースは、3D X線データがロードされ、さらに歯の注釈が定義されている場合に使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 3Dビューアは、対象の歯に焦点を合わせています。 - 歯の断面ビューアは、歯の水平方向のいくつかの断面を表示する断面のビューアです。 - 歯根形態を定義すると(ページを参照 45)、歯根管が表示されます。 <p>[歯]ワークスペースに移動するには、もう一度[F4]キーを押します(利用可能な場合)。</p>	F4
インプラント	<p>インプラントを計画し、検査します。このワークスペースは、デフォルトで、OPGビューア、インプラントへのスナップビューア、および断面ビューアの3つのビューアで構成されています。</p> <p>OPGビューアで横断面リスライスをクリックしてドラッグし、目的の位置に移動します。</p>	F9
3D検査	歯の範囲外の特定のポイントに移動して検査します。	N/A
TMJ	顎頭と顎関節の領域を検査します。	N/A
IOスキャン	IOスキャンを検査して比較します。 3D患者ワークスペースに移動するには、もう一度[F2]キーを押します(利用可能な場合)。	F2
OPG	2DパノラマX線画像(パノラマ)またはマルチレイヤー・パン画像を表示します。	F5
口腔内	<p>レイアウト上の口腔内画像を検査します(例:フルマウスのX線像シリーズ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 画像をダブルクリックして、追加のワークスペース機能(イメージフィルタとスマートレイアウト)を使用します(ページを参照 42)。 - 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc]キーを押します。 - 別の画像に切り替えるには、SmartPanel™の[レイアウト]タブの概要にあるサムネイルをクリックします。あるいは、 矢印キーを使用することもできます。 - 複数枚の画像を同じ1つのプレースホルダーに積み重ねることができます。 をクリックしてすべての画像を表示し、> <をクリックしてそれらを比較します。 	F6

ワークスペース	説明	ショートカットキー
セファログラム	正面および／または側面のセファログラムを表示します。 [3Dセファログラムを生成] ツールを使用して、ロードした3D X線データに基づいてセファログラムを計算するか、または2Dセファログラムをインポートします。	F7
臨床写真	患者の臨床写真を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 画像をダブルクリックして、追加のワークスペース機能（イメージフィルタとスマートレイアウト）を使用します（ページを参照 42）。 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc] キーを押します。 別の画像に切り替えるには、SmartPanel™の[レイアウト] タブの概要にあるサムネイルをクリックします。あるいは、← ↑ ↓ → 矢印キーを使用することもできます。 複数枚の画像を同じ1つのプレースホルダーに積み重ねることができます。 をクリックしてすべての画像を表示し、>< をクリックしてそれらを比較します。 	F8
口腔内写真	臨床写真に似ていますが、口腔内カメラ画像が含まれています。歯式チャートで歯を選択し、口腔内カメラを使用して [歯] ワークスペースで画像を取得すると、取得した画像が、選択した歯に自動的に割り当てられ、割り当てられた歯番号が臨床写真ワークスペースに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 画像をダブルクリックして、追加のワークスペース機能（イメージフィルタとスマートレイアウト）を使用します（ページを参照 42）。 最初のレイアウトの概要に戻るには、画像をもう一度ダブルクリックするか、[Esc] キーを押します。 別の画像に切り替えるには、SmartPanel™の[レイアウト] タブの概要にあるサムネイルをクリックします。あるいは、← ↑ ↓ → 矢印キーを使用することもできます。 複数枚の画像を同じ1つのプレースホルダーに積み重ねることができます。 をクリックしてすべての画像を表示し、>< をクリックしてそれらを比較します。 	N/A
口腔内カメラ	口腔内カメラ取得専用のワークスペース。	F10
最近の画像	[最近の画像] ワークスペースには、最近インポートまたは取得したすべての画像が表示されます。デフォルトでは、ワークスペースには過去7日間の画像が表示されます。これを変更するには、DTX Studio Clinicのプリファレンスに移動します。	F12

ワークスペースのカスタマイズ

1. [プリファレンス] ウィンドウで、[ワークスペース] をクリックします。
2. [デフォルト・ワークスペース] リストで、DTX Studio Clinicを開いたときにデフォルトで表示されるワークスペースを選択します。標準設定は[最新のデータ]で、最新の取得画像またはインポート画像に関連付けられたワークスペースが表示されます。
3. 必要に応じて、[最近の画像] ワークスペースに表示する画像について、[最近の画像] フィールドの日数を変更します。デフォルト値は7です。
4. [OK] をクリックします。

SmartFocus™で関連する歯の情報をすべて表示する

サポートされているビューアでSmartFocusを有効にするには、スペースバーを押します。あるいは、上部メニューバーの⊕をクリックします。

- [歯] ワークスペースに移動し、オプションでビューアに特定の歯のデータをロードするには、歯の領域をクリックします。
- 歯の範囲外の領域をクリックして、[3D検査] ワークスペースに移動します。

スマートレイアウトでビューをカスタマイズ

ワークスペースのカスタマイズは、SmartPanel™の[レイアウト] タブを使用してビューアを追加または削除したり、ビューアの比率を変更したりして行います。

- ワークスペースに別のビューアを追加するには、SmartPanel™の[レイアウト] タブで、任意のタイルをクリックします。
- ワークスペースからビューアを削除するには、そのタイルを再度クリックします。
- ビューアの比率を変更するには、ウィンドウ・スプリッターのいずれかをドラッグします。
- ビューアを閉じるには、左上のウィンドウ・タイトルをクリックします。[ビューアを閉じる] を選択します。あるいは、[Q] キーを押します。
- モダリティ順、日付順、または選択した画像が最初に表示されるようにソートするには、[ソート項目] ドロップダウン・メニューをクリックして、[モダリティ]、[日付]、または[最初に選択済み] を選択します。
- ワークスペースのレイアウトを保存するには、ワークスペースのタイトルの横にある ... をクリックし、[ワークスペースのレイアウトの保存] を選択します。このレイアウトは、新規患者の解析のためのデフォルトのレイアウトとして設定されます。ビューアをリセットするには、[ワークスペースのリセット] をクリックします。

3D X線データによるIOスキャンの合成

IOスキャンを3D患者ワークスペースの3D X線と合成するには、次の手順に従います。

1. [IOスキャン] ツールメニューの[3D X線データと合成]  をクリックします。
2. IOスキャンを選択し、[次へ] をクリックします。
3. 必要に応じて、対応するポイントを指定し、[骨閾値] スライダーを使用して表示を調整します。
4. アライメントをチェックします。
5. [終了] をクリックします。

サムネイルバーの使用

口腔内ワークスペースと臨床写真ワークスペースの下部にあるサムネイル・バーには、解析に追加されていてもワークスペース・ビューアには表示されていない画像がすべて表示されます。

- サムネイル・バーから画像をドラッグし、プレースホルダの上に画像をドロップします。
- プレースホルダに既に画像が含まれている場合は、その画像が新しい画像に置き換えられ、古い画像はサムネイル・バーに再び追加されます。

診断所見を追加する

SmartPanel™の[所見]タブでは、歯の病変、顎関節の問題、または歯に関するその他の所見を記録できます。

- 事前に定義された診断所見を歯に追加するには、[診断]ツールメニューまたはSmartPanel™の[所見]タブで[所見の追加]  をクリックします。必要に応じて、所見の[スクリーンショット]  をクリックして、スクリーンショットを含めることができます。
- 所見を削除するには、所見の上にカーソルを置くか、所見を選択し、 をクリックして[削除]を選択します。
- カスタムの診断所見を追加するには、検索フィールドにカスタムの名前を入力し、[Enter]キーを押すか[追加]をクリックします。
- 必要に応じて、ドロップダウンメニューをクリックしてステータスを割り当てます。

備考

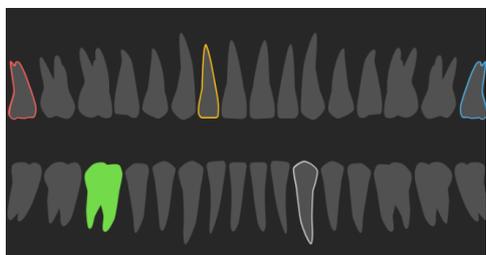
歯のワークスペースでは、ステータスは歯式チャートにも視覚的に示されます。

歯のワークスペースで所見を追加した場合、その所見は特定の歯に追加されます。

別のワークスペースで所見を作成した場合は、歯番号のプレースホルダをクリックし、歯番号を入力して、特定の歯に所見を割り当てます。

SmartPanel™歯式チャート

歯のワークスペースとエンドワークスペースでは、歯式チャートは[SmartPanel™]タブの上に表示されます。



- データがワークスペースに表示されている有効な歯は緑色で強調表示されます。
- 歯式チャートで歯をクリックして、別の歯を選択します。
- 歯式チャートの下で、前の歯に移動する場合は<をクリックし、次の歯に移動する場合は>をクリックします。
- 少なくとも1つの所見が追加されている歯は、その輪郭が色付きで示されます。色は、所見の治療ステータスによって異なります。

治療ステータス	色	説明
状態	灰色	この所見は重大ではありませんが、時間の経過に伴う変化を注意深く観察する必要があります。
治療計画	赤	治療を必要とする所見です。
経過観察	オレンジ	初期段階で発見された所見であり、経過観察が必要です。
完了済み	青	この所見の治療は完了しました。

リスライスの調整

- リスライスラインをスクロールし、クリックしながらドラッグすることで、カスタムのリスライスを移動します。または、灰色のスライダーを右側に動かします。
- リスライスの末端の1つをクリックしながらドラッグすることで、リスライスを回転させます。ビューア内でマウスをドラッグして、ビューアを中心点を中心に画像データを回転させます。
- リスライス位置が保存されます。
- デフォルトの位置に戻すには、リスライスビューアを右クリックし、**[リスライス軸をリセット]**を選択します。

3Dボリュームのクリップ

SmartPanel™の[3D患者]、[歯]および[3D検査]のワークスペースの**[ビューア]**タブで、**[3D表示のクリップ]**を選択し、3D容積の一部を非表示にして、その容積の特定の領域を検査します。

ワークスペースでの歯科用口腔内カメラの使用

USB歯科用口腔内カメラを口腔内カメラのワークスペース内で直接使用するか、または別のワークスペース内から使用して、口腔内画像を取得します。

1. **[口腔内カメラ]**ワークスペースタブをクリックするか、任意のワークスペースでSmartPanel™**[カメラ]**タブをクリックします。
2. 必要に応じて、カメラ機器のタイルをクリックします。
3. 機器のボタンをクリックして、画像を取得します。あるいは、下部にある**[画像キャプチャ]**をクリックします。

ツール

ツールバーには、解析、測定、治療の計画、スキャン・データの編集を行うためのツールがあります。

一部のワークスペースでは、特定のツールを使用できない場合があります。使用できないツールはグレー表示になっています。



警告

測定の精度は、画像データ、使用されるスキャナー、キャリブレーションおよび取得設定によって異なります。画像の解像度よりも高い精度で測定することはできません。DTX Studio Clinicソフトウェアは、ユーザーが選択したポイントに基づいて、小数点以下1桁に丸められた値を報告します。

ツールバーのタブの1つをクリックすると、対応するツールに移動します。

[解析] タブ



3Dリスライス・ビューアのスライスの厚さを設定します。3Dリスライスビューアをクリックして水平方向にドラッグし、X線の厚さを設定します。右クリックして終了します。

注記

デフォルトのスライス厚を設定するには、DTX Studio Homeの設定またはDTX Studio Clinicのプリファレンスの[画像設定]タブに移動します。右上のドロップダウンメニューで、[3Dリスライス]、[パノラマ]、または[齒]を選択します。[スライスの厚さ]ドロップダウンメニューで目的の厚さを選択します。



明るさとコントラストを調整するには、次のようにビューアをドラッグします。

- 水平方向: 対比を変更します。
- 垂直方向: 明るさを変更します。

注記

明るさと対比のツールをグレースケール画像で使用すると、それに応じてレベルとウィンドウの値が更新されます。



画像の特定の領域を拡大するか(デフォルト設定)、適用されたフィルタと元の画像を比較します。拡大レベルを調整するには、マイナスキーとプラスキー(macOSを使用する場合はShift + プラスキー)を使用します。デフォルト設定を変更するには、DTX Studio Clinicのプリファレンスに移動します。



3Dモデルをクリックするときに、ベースになるリスライスを調べます。

- リスライスは、オーバーレイスライスのエクスペローラウィンドウに表示されます。
- アクティブなイメージフィルタとスライスの厚さは、スライスのエクスペローラビューにも適用されます。
- スクロールして、すべてのリスライスを確認します。
- 3Dモデルは、ベースとなるリスライスを検査している間も回転可能です。



スクリーンショットをキャプチャします。このスクリーンショットは、臨床写真のワークスペース、SmartPanel™の[レイアウト]タブ、および患者データに追加されます。キャプチャされたスクリーンショットはレポートに追加できます(ページを参照 43)。



SmartPanel™の[所見]タブに所見を追加します。



気道を解析します。ランドマークを指定して、関心領域を囲むボックスを作成します。[終了]をクリックします。気道の容積と最も狭窄している領域は、[3D患者]ワークスペースで視覚化されます。

[解析] タブ



神経管を指定します。最初のアンカーポイントをクリックします。それぞれの次のアンカーポイントをクリックします。右クリックして終了します。

- ビューアのアンカーポイントを移動して、神経管注釈を調整します。
- すべてのアンカーポイントは、SmartPanel™の[注釈]タブに1本の線として表示されます。



3D患者ワークスペース(コロナル/サジタル/アキシャル)の任意のスライスビューアでカスタムのスライス線を描画して、(CB)CTデータを詳細に検査するカスタムのスライスを作成します。たとえば、根管にマークを付けて検査したり、注釈を付けたりします。

- スライスラインをクリックしながらドラッグすることで、カスタムのスライスを移動します。
- スライス線の末端の1つをクリックしながらドラッグすることで、カスタムのスライスを回転させます。



各歯根管に根尖の基準点を指定することで、**歯根形態**を定義します。

1. スライスをスクロールして、最適な位置を見つけます。
注記
必要に応じて、[水平]ビューアで歯の中心をクリックしながらドラッグすることで中心を再指定します。
2. ビューアの1つで位置をクリックします。
3. 根管の視覚化はすぐに[歯根管]ビューアに表示されます。
4. 必要に応じて、[ポイントを追加]をクリックして新しい基準点を追加します。
5. [終了]をクリックします。



潜在的な歯科所見があるフォーカスエリアを検出します。[ページを参照 52.](#)



検出されたフォーカスエリアを無視します。

[注釈] タブ



画像にテキストを追加します。



ペンで、折れ線を描画します。すべての線は、SmartPanel™の[注釈]タブに1つの注釈として表示されます。



鉛筆でフリーフォームの線を描画します。



円を描きます。



矢印を描きます。



注釈のラインの太さを選択します。

[測定] タブ

- 

あるポイントのHU値を測定します。シーンの任意のポイントをクリックしてHU値またはグレー値を測定します。
- 

直線距離を測定します。距離を測定する2つの点をクリックします。画像のキャリブレーションがまだ済んでいない場合は、まず[参照値]を入力します。キャリブレーションの計測値がシーンに表示され、キャリブレーションオブジェクトが、SmartPanel™の[注釈]タブに追加されます。測定(およびその精度)が表示されます。
- 

セグメントを測定します。最初のポイントをクリックします。それぞれの次のポイントをクリックします。右クリックして終了します。
- 

角度を測定します。3つのポイントをクリックします。

[プラン] タブ

- 

インプラントを埋入します。このツールは、CB(CT)データを含む任意のワークスペースで使用できます。
- 

どのインプラントが配置可能かを管理します。
- 

別のインプラント計画を追加します。完了したら、SmartPanel™の[インプラント計画]タブでインプラント計画を切り替えます。

[3D X線] タブ

- 

AIを利用したMagicAssistアルゴリズムを使用して、(CB)CTデータと下顎神経に注釈を自動的に設定します。自動検出されたすべてのポイントは手動で調整できます。
自動的に検出された属性を含む3D X線は、右下隅に[自動]ラベルで示されます。
- 

患者モデルの方向を編集します。3D患者モデルの方向は、3Dビューアでモデルを平行移動して回転することによって目的の位置に設定することができます。

 1. 移動アイコン  または回転アイコン  をクリックするか、[Tab]キーを押して回転と平行移動モードを切り替えます。選択されているモードは緑色で表示されます。
 2. 基準線と正しく位置合わせされるまでモデルをドラッグします。
 3. [終了]をクリックします。

[3D X線] タブ

 OPG曲線を調整します。必要に応じて、ポイントや歯を指定します。歯がはっきり表示されない場合は、スクロールするか、右側のグレーのスライダーを使用して、仮想歯のセットアップを示す平面に軸方向リスライスの位置を合わせます (だいたい咬合面に収束します)。

必要に応じて、曲線を調整します。

- 曲線の形状を調整するには、個々のコントロールポイントをクリックしながらドラッグします。
- 新しいコントロールポイントを追加するには、曲線をクリックします。
- 完成した曲線を移動するには、周辺領域をクリックしてドラッグします。

 TMJ領域を指定します。ウィザードに示されているように、顎頭の位置を示します。[終了]をクリックします。TMJワークスペースが開き、ここで左右の顎頭の位置を比較して、顎関節領域を検査します。

 歯の位置を指定します。歯式チャートで、キャリブレーションする歯を選択します。軸方向リスライスの正しい位置に歯のインジケータをドラッグします。垂直リスライス上で、歯の軸を調整します。

 骨閾値を調整します。3Dビューアで水平方向にクリックしながらドラッグし、骨閾値を調整します。

 患者モデルの余分な部分を切り取って、クリーンアップします。シーン内のポイントをクリックして、削除する必要のあるセクションの周囲の描画を開始します。右クリックして確認します。

注記

元の患者モデルを復元するには、SmartPanel™の[ビューア]タブの[3D可視化]の横にある ... をクリックします。[3Dモデルのリセット]を選択します。

 OPGを生成します。パノラマ (リスライス) ビューは、2D画像として患者データに追加されます。生成された画像はOPGワークスペースで開かれます。

 インポートした3D X線データに基づいて、3Dセファログラムを生成します。

[IOスキャン] タブ

 IOスキャンを自動的に設定します。

 3D X線データ上のIOスキャンをアライメントまたは再アライメントします。

 IOスキャンのワークスペースに現在表示されているすべての顎のスキャンと診断スキャンの穴*を埋めます。小さい穴またはすべての穴を選択して埋めます。[穴を埋める]をクリックします。追加されたテクスチャは青色で示されます。

* Windowsのみ。

[IOスキャン]タブ



IOスキャンを比較して、歯肉退縮、歯の摩耗、その他の違いを追跡します。参照スキャンと比較する、IOスキャンを選択します。**[終了]**をクリックします。

デフォルトでは、色付きの距離マップが適用されます。互いにアライメントされた2つのスキャンを表示するには、SmartPanel™の**[ビューア]**タブで、**[オーバーレイ]**を選択します。比較を無効にするには、**[スキャン比較]**オプションをオフにします。



SmartSetupを使用して仮想歯を計算します。

レポート

レポートの作成

所見を含むレポート、または患者に関連する文書のテンプレートとしてのレポートを作成するには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Clinicで、患者メニューを開きます。
2. **[エクスポート]**  をクリックし、**[レポートのエクスポート]**を選択します。
3. レポートテンプレートを選択します。
4. **[レポートのエクスポート]**をクリックします。
5. レポートは編集可能な.odt形式でエクスポートされ、デフォルトのテキストエディタ (Microsoft Office、LibreOffice、OpenOffice Writerなど) で開くことができます。
6. 必要に応じて変更を加えます。
7. レポートを保存します。

カスタムのプラクティスロゴの追加

デフォルトでは、DTX Studio Clinicのアイコンがレポートのヘッダーに追加されます。カスタムのロゴを追加するには、次の手順に従います。

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの**[全般]**をクリックします。
2. **[参照]**をクリックします。
3. 新しいロゴを選択します。
4. **[開く]**をクリックします。
5. **[OK]**をクリックします。

DTX Studio Implantを開く

DTX Studio ClinicとDTX Studio Implantを接続する

1. DTX Studio Homeの**設定**サイドバーの[DTX Studio Implant]をクリックします。
2. [参照]をクリックして、コンピュータ上のDTX Studio Implantのインストール場所に移動します。

注記

患者記録が既にDTX Studio Implantに存在している場合や口腔内スキャンをDTX Studio Implantにエクスポートしたが3D X線とアライメントされていない場合など、患者データをDTX Studio Implantの患者記録に手動で追加する必要がある場合は、患者データの保存先を設定します。

3. [OK]をクリックします。

DTX Studio Implantを起動する

1. 患者リストで患者記録を選択します。
注記
この患者には1枚以上の3D X線画像が必要です。
2. [インプラント]  をクリックします。
3. [既存の患者を開く] または [新しい患者にエクスポート] を選択します。
4. 3D X線画像が複数枚ある場合は、適切なタイルを選択します。
5. [エクスポート] をクリックします。
6. 正常に完了したことを示すメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
7. DTX Studio Implantで患者記録が作成されるか、または開きます。

オーダーとパートナーの共同作業

手術計画、サージカルテンプレート、または補綴修復をオーダーする

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. [共同作業]  をクリックします。
3. [手術計画] 、[サージカルテンプレート] 、または[補綴修復]  にカーソルを合わせます。
4. [選択] をクリックします。
5. 患者データを選択して、ラボまたは歯科医師に送信します。
6. [続ける] をクリックします。
7. DTX Studio Goでドラフトオーダーが作成されます。欠測データを追加し、オーダーを接続されたラボまたは歯科医師に送信します。
8. サイドバーの[オーダー]  をクリックすると、すべてのオーダーが表示されます。

注記

本取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾の場合があります。ご了承ください。

パートナーとの接続の設定

一部の他社パートナーは、DTX Studio Clinicに直接統合されたサービスを提供できます。オーダーをDTX Studio Clinicで作成し、パートナーのフレームワークに送信できます。

お住まいの地域でサービスプロバイダーを利用できる場合は、DTX Studio Goでパートナーアカウントを接続することから始めます。

1. **[共同作業]**  をクリックします。
2. パートナー名にカーソルを合わせて**[設定]**を選択します。
3. **[続ける]**をクリックします。
4. DTX Studio Goの指示に従って接続を完了します。

パートナーからの直接オーダー

パートナーアカウントがDTX Studio Goに接続されると、サービスを使用できるようになります。

1. **[共同作業]**  をクリックします。
2. パートナー名にカーソルを合わせて**[選択]**をクリックします。
3. 送信する患者データを選択します。
4. **[続ける]**をクリックします。
5. ファイルがアップロードされます。
6. パートナーのWebサイトでオーダープロセスを続行します。
7. 送信が完了すると、患者記録の**[オーダー]**の概要にオーダーが追加されます。

パートナーの症例の表示または新しいデータの追加

1. 患者リストで患者記録を選択します。
2. **[オーダー]**タブをクリックします。
 - **[症例の表示]**をクリックして、パートナーのWebサイトで症例を開きます。
 - **[新しいデータの追加]**をクリックして、症例に新しいデータを送信します。

フォーカスエリア検出

フォーカスエリア検出とは

DTX Studio Clinicでは、2D口腔内X線画像 (IOR) で自動的にフォーカスエリアを検出できます。IORキャプチャ機器は、デジタルセンサーかアナログPSPプレートのいずれかです。

フォーカスエリア検出は、AIを利用したアルゴリズム (人工知能) であり、畳み込みニューラル・ネットワークを使用して画像を分割し、歯科所見またはキャプチャ時アーチファクトが存在する可能性がある関心領域を特定します。承認されたフォーカスエリアは、その患者の診断所見に自動的に変換されます。

歯科所見でサポートされているフォーカスエリアは、う蝕、根尖病巣、根管欠損、辺縁部欠損、ボーンロス (骨吸収)、および歯石です。

キャプチャ時アーチファクトに関してサポートされているフォーカスエリアは、オーバーラップとスクラッチです。

フォーカスエリア検出の使用

口腔内画像をキャプチャまたはインポートすると、フォーカスエリア検出が自動的に実行され、画像に特別な注意が必要な領域が含まれているかどうかを確認できます。これは、画像の上を走る青いラインで確認できます。

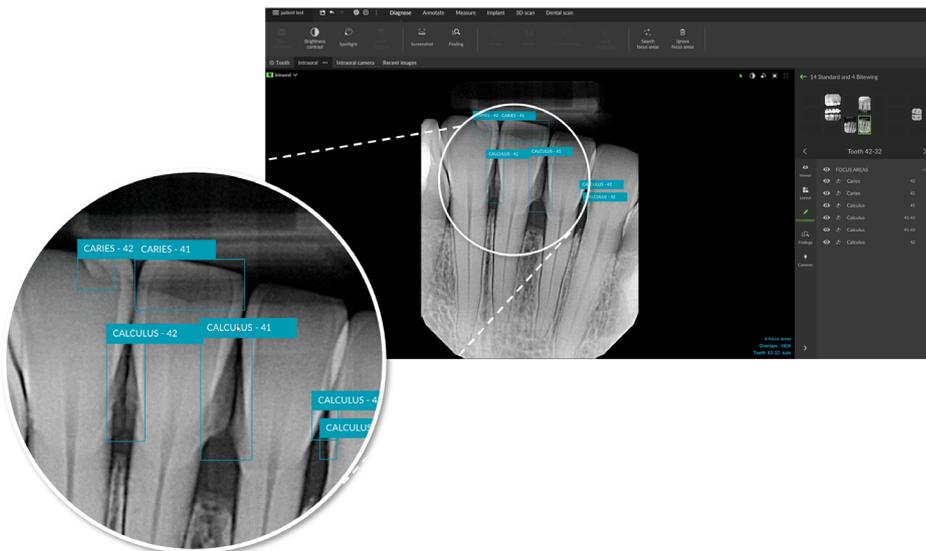
画像に歯科所見の可能性がある場合、青い[フォーカスエリア検出]アイコン  が画像の左上隅に数値と共に表示され、歯科所見の数が表示されます。

画像に青いアイコンが含まれていない場合は、歯科所見の可能性が検出されなかったか、画像がチェックされていません。これは、潜在的な歯科所見がないという意味ではありません。この機能を使用するときは、注意が必要です。



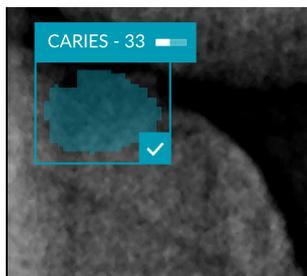
フォーカスエリア検出

画像をクリックして開きます。フォーカスエリアが、フォーカスエリア注釈を使用して口腔内画像上で視覚化されます。これらの注釈には、歯番号(わかっている場合)と、検出された潜在的な歯科所見のタイプが表示されます。



フォーカスエリアにカーソルを合わせると、潜在的な歯科所見の位置が視覚化されます。

分析後、フォーカスエリアを左クリックして潜在的な歯科所見を受け入れるか、またはフォーカスエリアを右クリックして拒否するかを選択します。



受け入れることを選択すると、フォーカスエリアは黄色に変わり、自動的に診断所見に変わります。これはSmartPanel™の[結果]タブに追加されます。

フォーカスエリアは、SmartPanel™の[注釈]タブにも一覧表示され、SmartPanel™の表示機能の[表示]アイコンを使用して表示または非表示にすることができます。

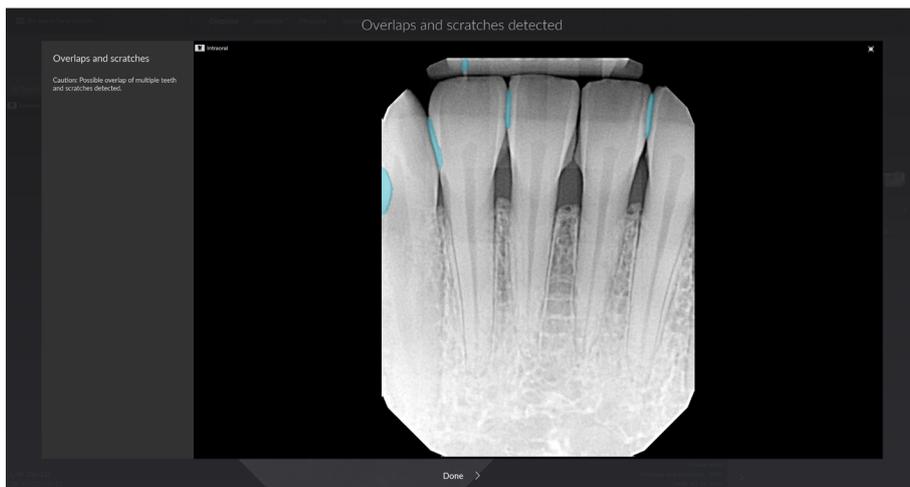
フォーカスエリア検出

オーバーラップとスクラッチ

フォーカスエリア検出では、複数の歯の重なりまたはスクラッチの可能性もチェックします。オーバーラップまたはスクラッチが検出されると、右下隅に通知が表示されます。



[表示] をクリックして、通知を確認します。





Nobel Biocare AB
Box 5190, 402 26
Västra Hamngatan 1,
411 17 Göteborg,
Sweden

www.nobelbiocare.com

オーストラリアの配布元:

Nobel Biocare Australia Pty Ltd
Level 4/7 Eden Park Drive
Macquarie Park, NSW 2114
Australia

電話: +61 1800 804 597



CH正規代理店/輸入業者:

Nobel Biocare Services AG
Balz Zimmermann-Strasse 7
8302 Kloten
Switzerland

ニュージーランドの配布元:

Nobel Biocare New Zealand Ltd
33 Spartan Road
Takanini, Auckland, 2105
New Zealand

電話: +64 0800 441 657

トルコの配布元:

EOT Dental
Sağlık Ürünleri ve Dış Ticaret A.Ş.
Nispetiye Mah. Aytar Cad.
Metro İş Merkezi No: 10/7
Beşiktaş İSTANBUL
電話: +90 2123614901



ifu.dtxstudio.com/symbolglossary
ifu.dtxstudio.com